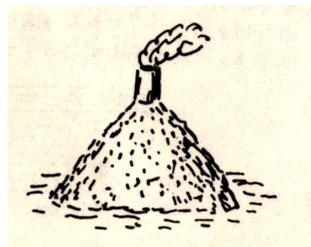
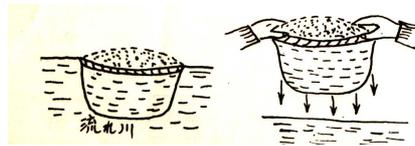


野菜の作業

パイプハウスを活用し冬期から来春に向けた野菜をつくりましょう！

種まき	定植（植付け）	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・エンドウ 絹さや ・二十日ダイコン (ラディッシュ) <p>栽培しやすい品種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメット（赤丸） ・ワグスカレット(赤長) ・コマツナ ・ホウレンソウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・タラの木（芽） 	<p>【ホウレンソウの品種について】 東洋種と西洋種、その雑種に分かれ、秋まきではおもに東洋種と雑種が利用されています。次郎丸、豊葉、若草、新日本などが代表的です。作型を選ばないオーライ、ミストラル、アクティブなどの品種もおすすめです。 生育適温は 15℃～20℃で、10℃くらいの低温でもよく育ちます。</p>
<p>パイプハウス 今年も助成がありますので積極的に活用して下さい！</p>	<p>収 穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハクサイ ・葉ねぎ ・サトイモ ・シュンギク ・ダイコン ・ニンジン ・野沢菜 ・チンゲンサイ ・長芋 など 	<p>ホウレンソウの外葉に黄色い斑点がでたら・・・</p> <p>①べと病←アリエッティ水和剤 1,500 倍を散布 ②マグネシウム欠乏？</p> <p>ホウレンソウは比較的高い酸度（pH6～7）を好むため、石灰を施用することは誰でも行いますが、消石灰ではマグネシウム（苦土）が不足します。苦土石灰やサンライムなど苦土を含む石灰で土壌改良をしましょう！</p> 
<p>【初殻くん炭をつくりましょう】 初殻が手に入る時期です！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぬか焼き器を使って少しづつ焼く。 ・焼き終わったらすぐ水を掛けて消し、焼き過ぎない。 ・生焼けが 10%あるくらいが良い。  <p>くん炭は pH が 8 程度あるので水洗いして pH を 6 程度に調整する (流水に 6 時間程度浸し洗う)</p>  <p>くん炭の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土の物理性（排水性・保水性）を改善 ・土壌中の微生物も増やします！ 	<p>【エンドウマメの栽培ポイント】</p> <p>エンドウの越冬栽培は越冬時の株の大きさがポイント！</p> <p>(標高 600m 以下なら、秋まき栽培が可能！)</p> <p>[秋まき栽培のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日当たりの良い畑に10月下旬～11月上旬に播種 ・播種が早すぎて株が大きすぎると凍み枯れる。 ・本葉 2 枚くらいでの越冬が最も寒さに強い。 ・越冬対策として「もみがら」を掛けると良い。 <p><u>エンドウは花が咲くためには一定の寒さに当たらないと花が咲きません</u></p> <p>[エンドウ栽培のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連作は行わない！ ・石灰の散布⇒pHは7程度に矯正する。 ・湿害にも弱いので排水対策を講ずる。 <p>[春まき栽培]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月下旬にポットに播種し、本葉 3～4 枚の頃移植する。 ・黒ポリマルチで保温を行う。 	

果樹の作業（元肥の施用）

果樹は11月下旬に元肥施用の時期を迎えます。下記の表を参考にして下さい。

品目名	肥料名	1a (30坪) 当たり		注意事項
		元肥施用量	その他の土壌改良資材	
果樹	りんご	10kg	有機質200kg	・樹勢に応じて施用量を加減する
	プルーン	12kg	重焼りん20kg	
	巨峰	3kg	有機質60kg	・巨峰の有機質は、窒素を多く含まない粉殻等が良い。
	ウメ	8kg	苦土石灰10kg	

(肥料：果樹1号は窒素16%・リン酸6%・加里8%を含む果樹専用の肥料です)

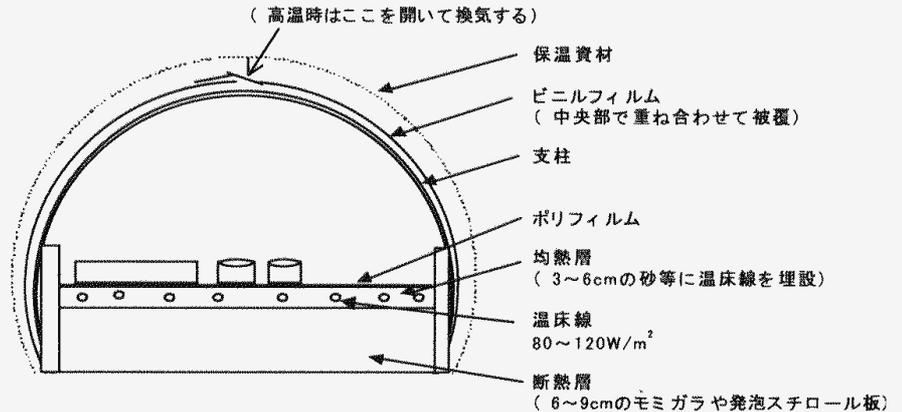
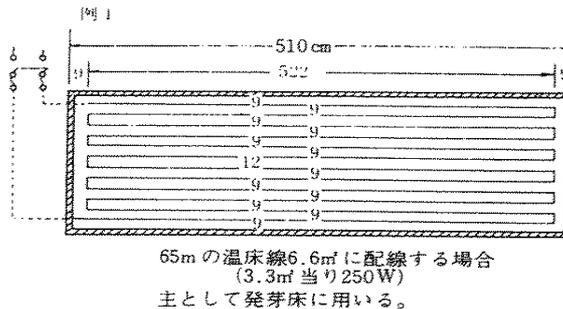


農業豆知識

質問コーナー

パイプハウスを活用し、野菜苗の育苗をしようと思います。温床線を用いると生育が安定すると聞きました。温床線の張り方や注意事項を教えてください。

温床線の張りかた



電熱温床の例

多くの果菜類は発芽適温が28~30℃と高いため、冬期間は温度不足を補い生育を安定させる必要があります。「温床育苗」は、温度を掛けない「冷床育苗」に対し、発芽・生育適温を希望通りに設定ができ、冬期間の野菜栽培を安定させます。

【温床線の設置方法】

- (1) 床面を平らにする。
- (2) 断熱層としてモミガラ、ワラ等を6~9cm程度（又は発泡スチロール等を利用）入れ踏み固める。
- (3) 温床線が直接モミガラ等に触れないように土を3cm程度入れる、平らに踏み固める。
- (4) 温床線を配置する。（線があまらないように、面積に応じて発熱線を購入する：張り方の例を参照）
 - ・間隔は少なくとも6cm以上とし、温床線が相互に触れ合わぬように気をつける。
 - ・折り返し時に二重巻きには絶対にしない！
 - ・サーモスタット（温度調節器）を接続し、温度測定部分を地中に埋設する。
- (5) 温床線が見えない程度に土を入れ、播種箱を乗せる。
- (6) ポリフィルムやビニール、保温資材等も併用し保温に努める。

【園芸マット】

播種床の面積が0.5~2坪程度なら、園芸用に開発されたマット上のヒーター（園芸マット）が市販されています。温床線の配置の必要が無くマットを敷くだけ。サーモスタットも付いていて簡単に温度調節ができます。

お知らせ

土壌診断を受付中⇒11月30日までに「あさつゆ」事務所へご提出下さい。
（採土方法、提出方法は「どきどき情報10月号」を参照下さい。）